

鲁兆麟等点校
辽宁科学技术出版社

中国医学珍品全书

名著

（上）

鲁兆麟等点校
辽宁科学技术出版社



1236708

(辽)新登字 4 号

图书在版编目(CIP)数据

中国医学名著珍品全书/鲁兆麟等点校. —沈阳:辽宁科学技术出版社,1995.12

ISBN 7-5381-2261-3

I. 中… I. 鲁… III. 中国医药学—著作—手册 IV. R22

中国版本图书馆 CIP 数据核字(95)第 19335 号

辽宁科学技术出版社出版发行

(沈阳市和平区北一马路 108 号 邮政编码 110001)

河北省邮电印刷厂印刷

开本:787×1092 1/16 印张:320.75 字数:10,000 千字

印数:1—2000

1995 年 12 月第 1 版

1995 年 12 月第 1 次印刷

责任编辑:宋纯智

版式设计:王寿彭

封面设计:曹太文

责任校对:郭京

ISBN 7-5381-2261-3/R·366

全套定价:750.00 元

中国医学名著珍品全书

编校委员会

主 任：鲁兆麟

委 员：(以姓氏笔划为序)

王晓兰 王新佩 石学文 张宝春

张莉莎 肖诗鹰 陈赞玉 图 娅

袁 钟 高春媛 黄作阵 韩 平

彭建中 谢路山 魏富有

参加人员：才秀芬 王凤英 王寿彭 王 浩

卢凤敏 邢志宇 刘 劲 李淑贤

莫成荣 章 健 曹丽英 程嘉艺

袁 瑾 穆文朝 许翠霞 张永路

编校说明

中医学历史悠久,医籍浩繁,汗牛充栋,据《全国中医图书联合目录》载,目前全国一百一十三个图书馆,共藏有中医药书籍达一万二千一百二十四种,这些藏书尚不包括近代诸位同道编著出版的佳作在内。其种类之多,内容之广,充分显示中医药伟大宝库内容之丰富。

编纂中医丛书,古已有之,其目的有二,一者使前人佳作得以流传,一者为后学提供步入橘杏殿堂之捷径。因此,古人所编丛书中,有以少有流传医籍为编纂对象者,有以医者必读经典为编纂对象者,亦有一些丛书则二者兼有之。元代杜思敬老人编纂《济生拔粹》,收集金元名家著作一十九种,明代又有邵以正编纂《青囊杂纂》,将八部医籍勒成一部,影响最大的莫若明代王肯堂编纂的《古今医统正脉全书》,该书收集古代上自《素问》、《灵枢》、《甲乙经》、《难经》,下至金元四大家及明代医家的著作四十四种,勒成一部。尔及,如明代还有胡正心编辑的《十竹斋刊袖珍本医书十三种》。清代又有王琦编辑的《医林指月》,收集明清医著十二种;华岫云编辑的《古今医学会通》,编集医著十种;程永培编辑的《六醴斋医书十种》编集医书十种,栗山痴叟编辑的《医学便览》,编集医书七种;丁丙编辑的《当归草堂医学丛书》,编集医书十种;朱之榛编辑的丛书《保赤汇编》,收集医书七种;柯逢时编辑的《武昌医学馆丛书》,编集医书八种,陈侠居编辑的《中西医学群书》,编辑医书十种;冯步蟾编辑的《中西医学劝读十二种》,羊城医学会编辑的《中西医学全书》,收集当时中西医书十二种勒成一部。近代编辑丛书工作更加盛行,裘庆元先生先后编纂有《医学丛书十一种》、《医学丛书五十六种》,最著名的是《三三医书》,将九十九种医书编为三集,每集三十三种,故名曰《三三医书》。此外,裘先生还编纂有《珍本医书集成》,编集医书九十种。他如,国医书局编辑的《国医小丛书》,编集医书三十四种;陆士谔编辑的《基本医书集成》,编集医书二十一种。其中,篇幅最大,编辑种类最多的,当属曹炳章先生编纂的《中国医学大成》,共收集医书一百三十四种,勒成一部,而陈存仁先生编纂的《皇汉医学丛书》,将日本汉医著作七十二种,勒成一部,为国外医学丛书编纂之最。除此而外,在古代整理文史典籍的有影响丛书中,往往收集了大量中医古籍,如道藏中有与中医有关的著作就有一百零六种之多;《四库全书》中收集中医医书有九十七种之广,《丛书集成》中收集中医医书达四十二种,等等。以上举例,说明中医丛书的编纂有着悠久的历史,其发行既有利于习医者学习,又有利于古籍之传播。

为使岐黄之术得以发扬,使后学能早日步入杏林殿堂,我们在这浩如烟海的中医

古籍中,筛选出学习中医的必备典籍,精中选精,共选出三十五种既有理论意义、又有临床价值,包含中医理论、中药、方剂、针灸及临床各个方面的代表著作,勒成一部,分为上、中、下三卷,名曰《中国医学名著珍品全书》,虽不能将珍本尽罗其中,然此三十五部著作作为中医之珍本,当不为过。希望这部全书,能为同道所习用,在学习、研究中医的过程中,提供方便,则是我们的最大欣慰。

三十五部著作中,《马王堆医书》、《素问》、《灵枢》、《八十一难经》、《伤寒论》、《金匱要略》、《诸病源候论》当属经典著作与基础理论必备之书;《针灸甲乙经》、《针灸大成》为针灸代表著作;《千金要方》、《千金翼方》为唐代代表性综合类书;《神农本草经》、《本草备要》为中药必备书籍;《太平惠民和剂局方》、《医方集解》为方剂学常用之著作;《济阴纲目》、《傅青主女科》为妇科常备之书;《小儿药证直诀》、《幼幼集成》为儿科代表之作;《外科正宗》为外科代表作;《审视瑶函》为眼科代表作;《重楼玉钥》为喉科代表作;《温疫论》、《温病条辨》、《温热经纬》为温病学代表作;《古今医案按》为医案研究之代表作。其他如金元四大家的代表作《素问玄机原病式》、《脾胃论》、《儒门事亲》、《格致余论》,以及《寿世保元》、《医学心悟》、《医林改错》等,多为内科研究所必备。此外,本套丛书还收集了《医宗金鉴》这部清代名著,其于理论与临床各科均有重要学术价值。这样,这套全书虽不能说各方面内容均事无巨细的加以囊括,但能适合中医同道的广泛需要,也是本部书的编纂目的。

这次编纂过程中,我们对每部书均进行了点校,在编纂点校时,遵循了以下的原则:

一、对于经典著作,鉴于其年代久远,文词古奥,医理深广,为了便于读者学习,或选择历史上注释水平较高的读本进行校点,或于难懂之词义出注加以简单说明,但不加入作者评释见解,以利读者领悟;

二、每部著作均选用一个公认较好的版本作底本,并选择相应的主校、旁校本,对于底本之内容,除明显的错、讹、脱、倒,出注改正外,不轻易改动底本,若底本与校本不同,可出注说明。意在给读者保留一个值得信任的版本;

三、为了保护著作之原貌,作者对每一部著作、每一段文字,不加任何评议;

四、为便于读者阅读,对书中文句,用现代标点进行句读;

五、为适应横排本的排版特点,原书中的“右”、“左”,改为“上”、“下”。

但鉴于时间仓促,加之水平有限,错讹之处,在所难免,敬希望广大同道指正。

鲁兆麟

一九九四年六月于北京

目 录

马王堆医书

一、《足臂十一脉灸经》·····	(3)
二、《阴阳十一脉灸经》甲本·····	(4)
三、《脉法》·····	(6)
四、《阴阳脉死候》·····	(6)
五、《五十二病方》·····	(6)
六、《却谷食气》·····	(25)
七、《阴阳十一脉灸经》乙本·····	(26)
八、《导引图》题记·····	(27)
九、《养生方》·····	(28)
十、《杂疗方》·····	(35)
十一、《胎产书》·····	(38)
十二、《十问》·····	(41)
十三、《合阴阳》·····	(45)
十四、《杂禁方》·····	(46)
十五、《天下至道谈》·····	(47)

黄帝内经素问

卷第一·····	(55)
上古天真论篇第一·····	(55)
四气调神大论篇第二·····	(57)
生气通天论篇第三·····	(59)
金匱真言论篇第四·····	(61)
卷第二·····	(63)
阴阳应象大论篇第五·····	(63)
阴阳离合论篇第六·····	(68)
阴阳别论篇第七·····	(69)
卷第三·····	(71)
灵兰秘典论篇第八·····	(71)
六节藏象论篇第九·····	(71)
五藏生成篇第十·····	(74)
五藏别论篇第十一·····	(76)
卷第四·····	(77)
异法方宜论篇第十二·····	(77)
移精变气论篇第十三·····	(78)

汤液醪醴论篇第十四·····	(79)
玉版论要篇第十五·····	(80)
诊要经终论篇第十六·····	(80)
卷第五·····	(82)
脉要精微论篇第十七·····	(82)
平人气象论篇第十八·····	(86)
卷第六·····	(88)
玉机真藏论篇第十九·····	(88)
三部九候论篇第二十·····	(91)
卷第七·····	(94)
经脉别论篇第二十一·····	(94)
藏气法时论篇第二十二·····	(95)
宣明五气篇第二十三·····	(97)
血气形志篇第二十四·····	(98)
卷第八·····	(99)
宝命全形论篇第二十五·····	(99)
八正神明论篇第二十六·····	(101)
离合真邪论篇第二十七·····	(103)
通评虚实论篇第二十八·····	(104)
太阴阳明论篇第二十九·····	(106)
阳明脉解篇第三十·····	(106)
卷第九·····	(107)
热论篇第三十一·····	(107)
刺热篇第三十二·····	(108)
评热病论篇第三十三·····	(111)
逆调论篇第三十四·····	(112)
卷第十·····	(112)
疟论篇第三十五·····	(112)
刺疟篇第三十六·····	(114)
气厥论篇第三十七·····	(116)
咳论篇第三十八·····	(117)
卷第十一·····	(118)
举痛论篇第三十九·····	(118)
腹中论篇第四十·····	(119)
刺腰痛篇第四十一·····	(120)
卷第十二·····	(123)

风论篇第四十二	(123)	六元正纪大论篇第七十一	(185)
痹论篇第四十三	(124)	刺法论篇第七十二	(185)
痿论篇第四十四	(126)	本病论篇第七十三	(185)
厥论篇第四十五	(127)	卷第二十二	(198)
卷第十三	(129)	至真要大论篇第七十四	(198)
病能论篇第四十六	(129)	卷第二十三	(211)
奇病论篇第四十七	(130)	著至教论篇第七十五	(211)
大奇论篇第四十八	(131)	示从容论篇第七十六	(212)
脉解篇第四十九	(132)	疏五过论篇第七十七	(213)
卷第十四	(134)	微四失论篇第七十八	(214)
刺要论篇第五十	(134)	卷第二十四	(215)
刺齐论篇第五十一	(134)	阴阳类论篇第七十九	(215)
刺禁论篇第五十二	(134)	方盛衰论篇第八十	(217)
刺志论篇第五十三	(136)	解精微论篇第八十一	(218)
针解篇第五十四	(136)	附:黄帝内经素问遗篇	(220)
长刺节论篇第五十五	(137)	刺法论篇第七十二	(220)
卷第十五	(138)	本病论篇第七十三	(222)
皮部论篇第五十六	(138)		
经络论篇第五十七	(139)		
气穴论篇第五十八	(139)		
气府论篇第五十九	(143)		
卷第十六	(147)		
骨空论篇第六十	(147)		
水热穴论篇第六十一	(150)		
卷第十七	(152)		
调经论篇第六十二	(152)		
卷第十八	(155)		
缪刺论篇第六十三	(155)		
四时刺逆从论篇第六十四	(158)		
标本病传论篇第六十五	(158)		
卷第十九	(160)		
天元纪大论篇第六十六	(160)		
五运行大论篇第六十七	(162)		
六微旨大论篇第六十八	(167)		
卷第二十	(171)		
气交变大论篇第六十九	(171)		
五常政大论篇第七十	(176)		
卷第二十一	(185)		
		灵枢经	
		卷之一	(231)
		九针十二原第一法天	(231)
		本输第二法地	(232)
		小针解第三法人	(233)
		邪气藏府病形第四法时	(234)
		卷之二	(236)
		根结第五法音	(236)
		寿夭刚柔第六法律	(237)
		官针第七法星	(238)
		本神第八法风	(239)
		终始第九法野	(239)
		卷之三	(241)
		经脉第十	(241)
		经别第十一	(244)
		经水第十二	(245)
		卷之四	(246)
		经筋第十三	(246)
		骨度第十四	(247)
		五十营第十五	(248)

营气第十六	(248)	论勇第五十	(265)
脉度第十七	(248)	背腧第五十一	(266)
营卫生会第十八	(249)	卫气第五十二	(266)
四时气第十九	(249)	论痛第五十三	(266)
卷之五	(250)	天年第五十四	(266)
五邪第二十	(250)	逆顺第五十五	(267)
寒热病第二十一	(250)	五味第五十六	(267)
癫狂第二十二	(251)	卷之九	(267)
热病第二十三	(251)	水胀第五十七	(267)
厥病第二十四	(252)	贼风第五十八	(268)
病本第二十五	(253)	卫气失常第五十九	(268)
杂病第二十六	(253)	玉版第六十	(269)
周痹第二十七	(253)	五禁第六十一	(269)
口问第二十八	(254)	动输第六十二	(270)
卷之六	(255)	五味论第六十三	(270)
师传第二十九	(255)	阴阳二十五人第六十四	(270)
决气第三十	(255)	卷之十	(272)
肠胃第三十一	(256)	五音五味第六十五	(272)
平人绝谷第三十二	(256)	百病始生第六十六	(273)
海论第三十三	(256)	行针第六十七	(273)
五乱第三十四	(257)	上膈第六十八	(274)
胀论第三十五	(257)	忧患无言第六十九	(274)
五癰津液别第三十六	(257)	寒热第七十	(274)
五阅五使第三十七	(258)	邪客第七十一	(274)
逆顺肥瘦第三十八	(258)	通天第七十二	(276)
血络论第三十九	(259)	卷之十一	(276)
阴阳清浊第四十	(259)	官能第七十三	(276)
卷之七	(259)	论疾诊尺第七十四	(277)
阴阳系日月第四十一	(259)	刺节真邪第七十五	(278)
病传第四十二	(260)	卫气行第七十六	(279)
淫邪发梦第四十三	(260)	九宫八风第七十七	(280)
顺气一日分为四时第四十四	(261)	卷之十二	(281)
外揣第四十五	(261)	九针论第七十八	(281)
五变第四十六	(261)	岁露论第七十九	(282)
本藏第四十七	(262)	大惑论第八十	(283)
卷之八	(263)	痼疾第八十一	(284)
禁服第四十八	(263)	原二十四卷,今并为十二卷,计八	
五色第四十九	(264)	十一篇。	

难经集注

难经集注序

卷一

经脉诊候第一

- 一难 (289)
- 二难 (291)
- 三难 (292)
- 四难 (294)
- 五难 (296)
- 六难 (296)
- 七难 (296)
- 八难 (297)
- 九难 (297)
- 十难 (298)
- 十一难 (298)
- 十二难 (299)

卷二

- 十三难 (299)
- 十四难 (300)
- 十五难 (303)
- 十六难 (305)
- 十七难 (308)
- 十八难 (308)
- 十九难 (311)

卷三

- 二十难 (312)
- 二十一难 (312)
- 二十二难 (313)
- 二十三难 (313)
- 二十四难 (315)

经络大数第二

- 二十五难 (316)
- 二十六难 (317)

奇经八脉第三

- 二十七难 (317)
- 二十八难 (317)
- 二十九难 (318)

荣卫三焦第四

- 三十难 (319)
- 三十一难 (320)

藏府配象第五

- 三十二难 (321)
- 三十三难 (321)
- 三十四难 (321)
- 三十五难 (322)
- 三十六难 (323)
- 三十七难 (323)

藏府度数第六

- 三十八难 (323)
- 三十九难 (323)

卷四

- 四十难 (324)
- 四十一难 (324)
- 四十二难 (325)
- 四十三难 (326)
- 四十四难 (326)
- 四十五难 (327)
- 四十六难 (327)
- 四十七难 (327)

虚实邪正第七

- 四十八难 (328)
- 四十九难 (328)
- 五十难 (330)
- 五十一难 (331)
- 五十二难 (331)

藏府传病第八

- 五十三难 (331)
- 五十四难 (332)

藏府积聚第九

- 五十五难 (332)
- 五十六难 (332)

五泄伤寒第十

- 五十七难 (333)
- 五十八难 (333)
- 五十九难 (334)

六十难	(335)
神圣工巧第十一	
六十一难	(335)
藏府井俞第十二	
六十二难	(335)
六十三难	(336)
卷五	
六十四难	(336)
六十五难	(336)
六十六难	(337)
六十七难	(341)
六十八难	(341)
用针补泻第十三	
六十九难	(342)
七十难	(342)
七十一难	(343)
七十二难	(343)
七十三难	(343)
七十四难	(344)
七十五难	(344)
七十六难	(345)
七十七难	(345)
七十八难	(345)
七十九难	(346)
八十难	(346)
八十一难	(346)
难经集注跋	(346)
难经集注考	(347)

注解伤寒论

新刻伤寒论序	(351)
刻伤寒论序	(352)
注解伤寒论序	(353)
伤寒卒病论序	(354)
图解运气图	(355)
卷一	(360)
辨脉法	(360)
平脉法	(365)

卷二	(371)
伤寒例	(371)
辨痿湿喝脉证	(375)
辨太阳病脉证并治 ^① 上	(377)
卷三	(380)
辨太阳病脉证并治中	(380)
卷四	(392)
辨太阳病脉证并治下	(392)
卷五	(399)
辨阳明病脉证并治	(399)
辨少阳病脉证并治	(407)
卷六	(407)
辨太阴病脉证并治	(407)
辨少阴病脉证并治	(408)
辨厥阴病脉证并治	(412)
卷七	(416)
辨霍乱病脉证并治	(416)
辨阴阳易差 ^② 后劳复病脉证并治	(417)
辨不可发汗病脉证并治	(418)
辨可发汗病脉证并治	(419)
卷八	(420)
辨发汗后病脉证并治	(420)
辨不可吐	(420)
辨可吐	(420)
卷九	(420)
辨不可下病脉证并治	(420)
辨可下病脉证并治	(422)
卷十	(423)
辨发汗吐下后病脉证并治	(423)

金匱要略心典

卷上	(429)
脏腑经络先后病脉证第一	(429)
痉湿喝病脉证治第二	(432)
百合狐惑阴阳毒病证治第三	(435)
疟病脉证并治第四	(438)

① 医统本有“法”字，以后同。

② 医统本有“后”字

中风历节病脉证并治第五	(439)	奇邪血络论	(498)
血痹虚劳病脉证并治第六	(441)	五色论	(498)
肺痿肺病咳嗽上气病脉证治第七	(444)	阴阳二十五人形性血气不同论	(499)
卷中	(447)	卷之二	(501)
奔豚气病脉证治第八	(447)	十二经络脉支别第一上	(501)
胸痹心痛短气病脉证治第九	(448)	十二经络脉支别第一下	(504)
腹满寒疝宿食脉证治第十	(449)	奇经八脉第二	(506)
五脏风寒积聚病脉证并治第十一	(452)	脉度第三	(507)
痰饮咳嗽病脉证治第十二	(454)	十二经标本第四	(507)
消渴小便不利淋病脉证治第十三	(459)	经脉根结第五	(508)
水气病脉证并治第十四	(460)	经筋第六	(508)
卷下	(465)	骨度肠度肠胃所受第七	(510)
黄疸病脉证并治第十五	(465)	卷之三	(511)
惊悸吐衄下血胸满瘀血病脉证治		头直鼻中发际傍行至头维凡七穴	
第十六	(468)	第一	(511)
呕吐下利病脉证治第十七	(470)	头直鼻中入发际一寸循督脉却行	
疮痍肠痈浸淫病脉证并治第十八	(475)	至风府凡八穴第二	(511)
跌蹶手指臂肿转筋狐疝蛔虫病脉		头直侠督脉各一寸五分却行至玉	
证治第十九	(476)	枕凡十穴第三	(511)
妇人妊娠病脉证治第二十	(477)	头直目上入发际五分却行至脑空	
妇人产后病脉证治第二十一	(478)	凡十穴第四	(512)
妇人杂病脉证并治第二十二	(479)	头缘耳上却行至完骨凡十二穴第	
		五	(512)
		头自发际中央傍行凡五穴第六	(512)
		背自第一椎循督脉下行至脊骶凡	
		十一穴第七	(512)
		背自第一椎两傍侠脊各一寸五分	
		下至节凡四十二穴第八	(513)
		背自第二椎两傍侠脊各三寸行至	
		二十一椎下两傍侠脊凡三十六	
		穴第九	(513)
		面凡三十九穴第十	(514)
		耳前后凡二十六穴第十一	(515)
		颈凡十七穴第十二	(515)
		肩凡二十八穴第十三	(515)
		胸自天突循任脉下行至中庭凡七	
		穴第十四	(516)
		胸自输府侠任脉两傍各二寸下行	

针灸甲乙经

卷之一	(491)
精神五脏论	(491)
五脏变腧论	(492)
五脏六腑阴阳表里论	(492)
五脏六腑官论	(492)
五脏大小六腑应候论	(493)
十二原论	(494)
十二经水论	(494)
四海论	(495)
气息周身五十营四时日分刻漏论	(495)
营气论	(496)
营卫三焦论	(497)
阴阳清浊精气津液血脉论	(497)
津液五别论	(497)

至步廊凡十二穴第十五	(516)	病形脉诊第二上	(529)
胸自气户侠输府两傍各二寸下行		病形脉诊第二下	(530)
至乳根凡十二穴第十六	(516)	三部九候第三	(531)
胸自云门侠气户两傍各二寸下行		卷之五	(531)
至食窦凡十二穴第十七	(516)	针灸禁忌第一上	(531)
腋肋下凡八穴第十八	(517)	针灸禁忌第一下	(533)
腹自鸠尾循任脉下行至会阴凡十		九针九变十二节五刺五邪第二	(533)
五穴第十九	(517)	缪刺第三	(535)
腹自幽门侠巨阙两傍各半寸循冲		针道第四	(536)
脉下行至横骨凡二十二穴第二		针道终始第五	(538)
十	(517)	针道自然逆顺第六	(539)
腹自不容侠幽门两傍各一寸五分		针道外揣纵舍第七	(540)
至气冲凡二十四穴第二十一	(518)	卷之六	(540)
腹自期门上直两乳侠不容两傍各		八正八虚八风大论第一	(540)
一寸五分下行至冲门凡十四穴		逆顺病本未方宜形志大论第二	(541)
第二十二	(518)	五脏六腑虚实大论第三	(542)
腹自章门下行至居髎凡十二穴第		阴阳清浊顺治逆乱大论第四	(543)
二十三	(519)	四时贼风邪气大论第五	(543)
手太阴及臂凡一十八穴第二十四	(519)	内外形诊老壮肥瘦病且慧夜甚大	
手厥阴心主及臂凡十六穴第二十		论第六	(544)
五	(519)	阴阳大论第七	(545)
手少阴及臂凡一十六穴第二十六	(520)	正邪袭内生梦大论第八	(545)
手阳明及臂凡二十八穴第二十七	(520)	五味所宜五脏生病大论第九	(546)
手少阳及臂凡二十四穴第二十八	(521)	五脏传病大论第十	(547)
手太阳凡十六穴第二十九	(521)	寿夭形诊病候耐痛不耐痛大论第	
足太阴及股凡二十二穴第三十	(521)	十一	(548)
足厥阴及股凡二十二穴第三十一	(522)	形气盛衰大论第十二	(549)
足少阴及股并阴跷阴维凡二十六		卷之七	(549)
第三十二	(522)	六经受病发伤寒热病第一上	(549)
足阳明及股凡三十六穴第三十三	(523)	六经受病发伤寒热病第一中	(551)
足少阳及股并阳维四穴凡二十八		六经受病发伤寒热病第一下	(553)
穴第三十四	(523)	足阳明脉病发热狂走第二	(554)
足太阳及股并阳跷六穴凡三十四		阴衰发热厥阳衰发寒厥第三	(555)
穴第三十五	(524)	太阳中风感于寒湿发痙第四	(556)
卷之四	(524)	阴阳相移发三疟	(556)
经脉第一上	(524)	卷之八	(559)
经脉第一中	(526)	五脏传病发寒热第一上	(559)
经脉第一下	(527)	五脏传病发寒热第一下	(560)

- 经络受病入肠胃五脏积发伏梁息 : (561)
 贲肥气痞气奔豚第二 (561)
 五脏六腑胀第三 (563)
 水肤胀鼓胀肠覃石瘕第四 (564)
 肾风发风水面肺肿第五 (564)
 卷之九 (565)
 大寒内薄骨髓发头痛第一(颌项
 痛附)..... (565)
 寒气客于五脏六腑发卒心痛胸痹
 心疝三虫第二 (565)
 邪在肺五脏六腑受病发咳逆上气
 第三 (566)
 肝受病及卫气留积发胸胁满痛第
 四 (567)
 邪在心胆及诸脏腑发悲恐太息口
 苦不乐及惊第五 (567)
 脾受病发四肢不用第六 (568)
 脾胃大肠受病发腹胀满肠中鸣短
 气第七 (568)
 肾小肠受病发腹胀腰痛引背少腹
 控睾第八 (569)
 三焦膀胱受病发少腹肿不得小便
 第九 (570)
 三焦约内闭发不得大小便第十 (571)
 足厥阴脉动喜怒不时发癰疽遗溺
 癰第十一 (571)
 足太阳脉动发下部痔脱肛第十二 (572)
 卷之十 (572)
 阴受病发痹第一上 (572)
 阴受病发痹第一下 (573)
 阳受病发风第二上 (574)
 阳受病发风第二下 (575)
 八虚受病发拘挛第三 (576)
 热在五脏发痿第四 (576)
 手太阴阳明太阳少阳脉动发肩背
 痛肩前臑皆痛肩似拔第五 (577)
 水浆不消发饮第六 (577)
 卷之十一 (577)
 胸中寒发脉代第一 (577)
 阳厥大惊发狂病第二 (578)
 阳脉下坠阴脉上争发尸厥第三 (579)
 气乱于肠胃发霍乱吐下第四 (579)
 足太阴厥脉病发溲泄下痢第五 (579)
 五气溢发消渴黄瘴第六 (579)
 动作失度内外伤发崩中瘀血呕血
 唾血第七 (580)
 邪气聚于下脘发内癰第八 (581)
 寒气客于经络之中发痈疽风成发
 厉浸淫第九上 (581)
 寒气客于经络之中发痈疽风成发
 厉浸淫第九下 (581)
 卷之十二 (583)
 欠哆唏振寒噫噎哕泣出太息 潑下
 耳鸣啞舌善忘善饥第一 (583)
 寒气客于厌发啞不能言第二 (584)
 目不得眠不得视及多卧不安不得
 偃卧肉苛诸息有音及喘第三 (584)
 足太阳阳明手少阳脉动发目病第
 四 (585)
 手太阳少阳脉动发耳病第五 (586)
 手足阳明脉动发口齿病第六 (586)
 血溢发衄第七 (587)
 手足阳明少阳脉动发喉痹咽痛第
 八 (587)
 气有所结发瘤瘕第九 (587)
 妇人杂病第十 (587)
 小儿杂病第十一 (588)
- 重刊巢氏诸病源候总论**
 卷之一 (595)
 风病诸候上 凡二十九论
 一 中风候 (595)
 二 风癰候 (595)
 三 风口噤候 (595)
 四 风舌强不得语候 (595)
 五 风失音不语候 (595)

六 贼风候	(595)	四十二 风头眩候	(604)
七 风痉候	(596)	四十三 风癲候	(604)
八 风角弓反张候	(596)	四十四 五癲病候	(605)
九 风口喎候	(596)	四十五 风狂病候	(605)
十 柔风候	(596)	四十六 风邪候	(605)
十一 风痲候	(596)	四十七 鬼邪候	(606)
十二 风腭退候	(596)	四十八 鬼魅候	(606)
十三 风偏枯候	(596)	四十九 恶风须眉堕落候	(606)
十四 风四肢拘挛不得屈伸候	(596)	五十 恶风候	(607)
十五 风身体手足不随候	(597)	五十一 风瘙隐疹生疮候	(607)
十六 风湿痹身体手足不随候	(598)	五十二 风瘙身体隐疹候	(607)
十七 风痹手足不随候	(598)	五十三 风瘙痒候	(607)
十八 风半身不随候	(598)	五十四 风身体如虫行候	(607)
十九 偏风候	(598)	五十五 风痒候	(608)
二十 风痺曳候	(598)	五十六 风瘡瘰候	(608)
二十一 风不仁候	(598)	五十七 诸癲候	(608)
二十二 风湿痹候	(598)	五十八 乌癲候	(609)
二十三 风湿候	(599)	五十九 白癲候	(609)
二十四 风痹候	(599)	卷之三	(609)
二十五 血痹候	(600)	虚劳病诸候上 凡三十九论	
二十六 风惊邪候	(600)	一 虚劳候	(609)
二十七 风惊悸候	(600)	二 虚劳羸瘦候	(611)
二十八 风惊恐候	(600)	三 虚劳不能食候	(611)
二十九 风惊候	(600)	四 虚劳胃气虚弱不能消谷候	(611)
卷之二	(601)	五 虚劳三焦不调候	(611)
风病诸候下 凡三十论		六 虚劳寒冷候	(611)
三十 历节风候	(601)	七 虚劳痰饮候	(611)
三十一 风身体疼痛候	(601)	八 虚劳四支逆冷候	(611)
三十三 风入腹拘急切痛候	(601)	九 虚劳手足烦疼候	(611)
三十三 风经五脏恍惚候	(601)	十 虚劳积聚候	(611)
三十四 刺风候	(601)	十一 虚劳症瘕候	(611)
三十五 蛊风候	(601)	十二 虚劳上气候	(612)
三十六 风冷候	(601)	十三 虚劳客热候	(612)
三十七 风热候	(602)	十四 虚劳少气候	(612)
三十八 风气候	(603)	十五 虚劳热候	(612)
三十九 风冷失声候	(603)	十六 虚劳无子候	(612)
四十 中冷声嘶候	(603)	十七 虚劳里急候	(612)
四十一 头面风候	(603)	十八 虚劳伤筋骨候	(612)

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| 十九 虚劳筋挛候 (612) | 五十五 虚劳小便余沥候 (616) |
| 二十 虚劳惊悸候 (612) | 五十六 虚劳小便白浊候 (616) |
| 二十一 虚劳风痿痹不随候 (612) | 五十七 虚劳少精候 (616) |
| 二十二 虚劳目暗候 (612) | 五十八 虚劳尿精候 (616) |
| 二十三 虚劳耳聋候 (612) | 五十九 虚劳溢精、见闻精出候 (616) |
| 二十四 虚劳不得眠候 (613) | 六十 虚劳失精候 (616) |
| 二十五 大病后不得眠候 (613) | 六十一 虚劳梦泄精候 (616) |
| 二十六 病后虚肿候 (613) | 六十二 虚劳喜梦候 (617) |
| 二十七 虚劳脉结候 (613) | 六十三 虚劳尿血候 (617) |
| 二十八 虚劳汗候 (613) | 六十四 虚劳精血出候 (617) |
| 二十九 虚劳盗汗候 (613) | 六十五 虚劳膝冷候 (617) |
| 三十 诸大病后虚不足候 (613) | 六十六 虚劳阴冷候 (618) |
| 三十一 大病后虚汗候 (613) | 六十七 虚劳髀枢痛候 (618) |
| 三十二 风虚汗出候 (613) | 六十八 虚劳偏枯候 (618) |
| 三十三 虚劳心腹否满候 (613) | 六十九 虚劳阴萎候 (618) |
| 三十四 虚劳心腹痛候 (613) | 七十 虚劳阴痛候 (618) |
| 三十五 虚劳呕逆候 (613) | 七十一 虚劳阴肿候 (618) |
| 三十六 虚劳咳嗽候 (613) | 七十二 虚劳阴疝肿胀候 (618) |
| 三十七 虚劳体痛候 (613) | 七十三 虚劳阴下痒湿候 (618) |
| 三十八 虚劳寒热候 (614) | 七十四 虚劳阴疮候 (619) |
| 三十九 虚劳口干燥候 (614) | 七十五 风虚劳候 (619) |
| 卷之四 (615) | 卷之五 (619) |
| 虚劳病诸候下 凡三十六论 | 腰背痛诸候 凡十论 |
| 四十 虚劳骨蒸候 (615) | 一 腰痛候 (619) |
| 四十一 虚劳舌肿候 (615) | 二 腰痛不得俯仰候 (620) |
| 四十二 虚劳手足皮剥候 (615) | 三 风湿腰痛候 (620) |
| 四十三 虚劳浮肿候 (615) | 四 卒腰痛候 (620) |
| 四十四 虚劳烦闷候 (615) | 五 久腰痛候 (620) |
| 四十五 虚劳凝唾候 (615) | 六 肾著腰痛候 (621) |
| 四十六 虚劳呕逆唾血候 (616) | 七 胃腰痛候 (621) |
| 四十七 虚劳呕血候 (616) | 八 腰脚疼痛候 (621) |
| 四十八 虚劳鼻衄候 (616) | 九 背僂候 (621) |
| 四十九 虚劳吐下血候 (616) | 十 肋痛候 (621) |
| 五十 虚劳吐利候 (616) | 消渴病诸候 凡八论 |
| 五十一 虚劳兼痢候 (616) | 一 消渴候 (621) |
| 五十二 虚劳秘涩候 (616) | 二 渴病候 (622) |
| 五十三 虚劳小便利候 (616) | 三 大渴后虚乏候 (622) |
| 五十四 虚劳小便难候 (616) | 四 渴利候 (622) |

五 渴利后损候	(622)	五 伤寒一日候	(635)
六 渴利后发疮候	(622)	六 伤寒二日候	(635)
七 渴利候	(623)	七 伤寒三日候	(635)
八 强中候	(623)	八 伤寒四日候	(635)
卷之六	(623)	九 伤寒五日候	(635)
解散病诸候 凡二十六论		十 伤寒六日候	(635)
一 寒食散发候	(623)	十一 伤寒七日候	(635)
二 解散痰癖候	(631)	十二 伤寒八日候	(635)
三 解散除热候	(631)	十三 伤寒九日以上候	(635)
四 解散浮肿候	(631)	十四 伤寒咽喉痛候	(636)
五 解散渴候	(631)	十五 伤寒斑疮候	(636)
六 解散上气候	(631)	十六 伤寒口疮候	(636)
七 解散心腹痛心漾候	(631)	十七 伤寒胛豆疮候	(636)
八 解散大便秘难候	(631)	十八 伤寒胛豆疮后灭瘢候	(636)
九 解散虚冷小便多候	(631)	十九 伤寒谵语候	(636)
十 解散大便血候	(631)	二十 伤寒烦候	(636)
十一 解散卒下利候	(631)	二十一 伤寒虚烦候	(636)
十二 解散下利后诸病候	(631)	二十二 伤寒烦闷候	(636)
十三 解散大小便难候	(631)	二十三 伤寒渴候	(636)
十四 解散小便不通候	(632)	二十四 伤寒呕候	(636)
十五 解散热淋候	(632)	二十五 伤寒干呕候	(637)
十六 解散发黄候	(632)	二十六 伤寒吐逆候	(637)
十七 解散脚热腰痛候	(632)	二十七 伤寒哕候	(637)
十八 解散鼻塞候	(632)	二十八 伤寒喘候	(637)
十九 解散发疮候	(632)	二十九 伤寒厥候	(637)
二十 解散痈肿候	(632)	三十 伤寒悸候	(638)
二十一 解散烦闷候	(632)	三十一 伤寒瘕候	(638)
二十二 解散呕逆候	(632)	三十二 伤寒心否候	(638)
二十三 解散目无所见目疼候	(632)	三十三 伤寒结胸候	(638)
二十四 解散心腹胀满候	(632)	卷之八	(638)
二十五 解散挟风劳候	(632)	伤寒病诸候下 凡四十四论	
二十六 解散饮酒发热候	(632)	三十四 伤寒余热候	(638)
卷之七	(632)	三十五 伤寒五脏热候	(638)
伤寒病诸候上 凡三十三论		三十六 伤寒变成黄候	(638)
一 伤寒候	(632)	三十七 伤寒心腹胀满痛候	(638)
二 伤寒发汗不解候	(634)	三十八 伤寒宿食不消候	(639)
三 伤寒取吐候	(634)	三十九 伤寒大便不通	(639)
四 中风伤寒候	(634)	四十 伤寒小便不通候	(639)